



## ●株式会社山田電設

所在地 丸亀市飯野町東二甲 115 番地 1

業種 一般電気工事業

事業概要 電気設備工事、LED 照明の施工、太陽光  
発電の施工、家のリフォームなど  
電気工事全般

従業員数 6 人（男性 6 人、女性 0 人）

育児休業取得期間 R7 年 11 月～R8 年 1 月に 21 日間  
取得

**【今回のインタビューは、株式会社山田電設 代表取締役の山田龍さんと取締役の山田忍さん、育児休業取得者の古川さんにお話をしました】**

### ○育児休業を取得したきっかけについて

**【古川さん】**

子どもができたとき職場に相談したときに、社長から「育休を取得してはどうか」というお話がありました。最初は、育休を取得することは考えていませんでしたが、社長や職場の後押しがきっかけとなり取得しました。

**【山田龍さん】**

休みの日に偶然古川さん夫妻とお会いする機会があり、その際私と取締役の妻を交えた 4 人で育休について直接話し合うことができました。

### ○育児休業を取得した感想

**【古川さん】**

子どもが生まれたのが予定日より早く、出産や育児に向けた準備がまだできていなかったため、育休を取得できて助かりました。

育休は 2 回に分けて取得し、1 回目の取得時は、妻が入院していたため主に準備や手続きを行い、2 回目は、沐浴やおむつ替えなどの育児を行いました。初めての育児で大変でしたが、もし子どもが生まれたらまた育休の制度を活用したいと思います。

## ○職場内でのフォローについて

【山田龍さん】

現場仕事は一人で携わるわけではないため、古川さんが育休を取得している間は、一緒に現場に入っている従業員が快く業務をカバーしてくれました。少人数での業務は大変ですが、外部からの応援や育休前に仕事の段取りができていたこともあって、特に困ることはありませんでした。

また、日頃から誰かが休む際には、別の従業員が対応するなどフォロー体制を整備しています。

さらに、休日には一緒に釣りやサッカーを楽しむなど、従業員同士の仲が良く、日頃からコミュニケーションを取っています。

弊社では、古川さんが初めての男性育休取得者でしたが、今後他の従業員が育休を取得する際にも、今回の経験を生かして対応したいと思います。

## ○本市の奨励金制度はどのようにして知りましたか

【山田忍さん】

HP で検索しました。古川さんは普段から仕事を頑張ってくれているので、そんな従業員のために何かやってあげたいと思い、子どもが生まれると分かった時に、育児休業の制度について調べました。

## ○本市の奨励金制度について、市広報や HP 以外での効果的な周知方法がありますか

【山田龍さん】

補助金制度があっても知らないことが多いです。例えば、若い世代は YouTube やティックトックなどの SNS を見る人が多いと思うので、それらの媒体で広告を出していろいろな人の目に入りやすくするのも良いと思います。

## ○今後、育児休業制度をさらに活用していくために、行政からどのような支援があればいいと思うか

### 【山田忍さん】

建設業は業務の特性上、決まった勤務パターンで働くことが難しい面があります。今回、弊社では社長のフォローや他の従業員も快く協力してくれたため育児休業を取得できましたが、一般的な定時勤務・土日祝日休みの職種と同じ条件で取得するのは難しく、社会保険労務士の先生とも相談しながら進めました。

このように、特に建設業では現行の奨励金制度の要件を満たすことが難しい場合もあるため、建設業の働き方に合った奨励金制度があってもよいかと思いました。



(左から、代表取締役の山田龍さん、育児休業取得者の古川さん)

### (取材を終えての感想)

株式会社山田電設さんでは、古川さんが初めての男性育児休業取得者でしたが、日頃から「誰かが休む時は他の従業員でフォローする」という体制が整っており、古川さんの育休中も業務が円滑に進んだとのことでした。さらに、管理職の方が率先して定時退社を実践されており、従業員の方も残業がないように日中の業務に集中する意識が高く、ワーク・ライフ・バランスが整った職場であると感じました。

職場の雰囲気が「休みにくい」と感じられると、育休を取得したくても言い出せず、制度を利用できなかったというケースもあります。経営者や管理職の方が前向きに制度活用を促すことは、育休取得の後押しにもつながります。

お忙しい中取材に応じてくださりありがとうございました。